

① 土が酸化することにより、地盤が弱体化するなどの影響があるのではないか。

⇒気泡の漏出期間は限定的となることから、地下水及び地盤が長期にわたり空気に触れることはないため、地下水及び地盤が酸性化することはないと考えられることを有識者に確認しています。

② 「大深度地下の公共的使用に関する基本方針」や指針では、配慮すべき事項や措置について規定されている。外環事業において、これらの事項や措置が遵守されているかどうか。国交省の中のどの部署・部局が管理しているか。

⇒外環事業は、事業者が大深度地下の使用認可申請書を遵守し、工事を進めています。

③ 気泡の酸素濃度は1.5～6.4%と公表されているが、この測定日はいつか。

⇒気泡濃度が1.5%と測定したのは、6月18日（木）、6月25日（月）、6月26日（火）です。

気泡濃度が6.4%と測定したのは、5月23日（水）です。

④ 土が化学反応・酸化をおこし、発熱しているようなことはないか。このことについて調査は行っているのか。

⇒ご指摘の調査は実施していません。